

プログラムの概要

雑草鳥獣管理学講座では、専門的な雑草鳥獣管理学の進め方及び考え方を理論や実践的研究活動を通して修得できる教育を目標とし、人と雑草および野生鳥獣との調和・共存のための課題解決に向けて専門的に取り組む研究者及び技術者を育成します。さらに、本講座で学ぶ雑草と野生鳥獣に関する高度な専門知識と研究内容を基に、農林業生産域はもとより河川や道路等の公共緑地の維持管理に関する課題解決に貢献できる人材を養成します。

修了認定の基準 (ディプロマ・ポリシー)

所定の単位を修め、以下の能力(学修・教育目標)を身につけた者に対して学位を授与します。

- (A) 雑草鳥獣管理に関する理論を理解し、実践できる。
- (B) 農林業生産域だけでなく、河川や道路等の公共緑地の維持管理に関する課題解決に貢献できる。
- (C) 雑草鳥獣管理学分野の進展や、関連産業の需要に対応しうる高度な専門知識を有する。

履修条件 (アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

- (1) 農業やバイオサイエンスに関する高度な知識や技術を修得して、地域社会や国際社会に貢献しようとする夢と情熱を持つ人
- (2) 自然環境や生態系などの基礎的知識を有し、雑草・鳥獣と人間社会の関わりに興味を持つとともに、それらの間にある課題解決に使命感を持つ人
- (3) 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向け自ら考え、行動を起こす能力と意欲のある人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 大学の農学、生態学、環境科学に関する教育を受け、雑草鳥獣管理学に関する基本的な学力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 入学試験では、野生生物(動物、植物)およびその関連分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 社会人特別選抜では、雑草および鳥獣対策への取組経験や修了後の学びの生かし方なども考慮して評価します。

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針 (カリキュラム・ポリシー)

雑草や鳥獣管理の専門家として地域の課題発見力や解決力などの実践力を養成することを目的に、雑草管理学、地域資源利用学、鳥獣管理学を基盤科目としながら、野外演習に重点を置いています。

生物生産科学専攻 雑草鳥獣管理学講座 カリキュラムツリー

